

キャラクターでつなげる地域の輪プロジェクト

プロジェクト代表者：川本 雅史

1. プロジェクトの目的・概要

キャラクターでつなげる地域の輪プロジェクトは、小樽商科大学の事務職員3名によるプロジェクトです。

大学教員のような高い専門性はありませんが、親しみやすい「**ご当地キャラクター**」をツールとして、実際に地域に足を運ばせる具体的な仕掛けづくりにより、広域連携の推進と地域活性化に取り組んでいます。



2. 具体的な取組内容

【シールリレーの昨年度からの変更点】

	平成27年度		平成28年度	
開催期間	51日間 (H27.9.19-11.8)		93日間 (H28.7.2-10.2)	
参加市町村数	19市町村		しりべし地域全20市町村	
会場数 (臨時を除く)	27		43	
	常設会場	イベント会場	常設会場	イベント会場
	24	3	26	17
トレカ配布	全会場		イベント会場のみ	

【昨年度との結果比較】

応募総数	824		1,714	
応募シール貼付総枚数	6,761		14,309	
会場シール配布総枚数	23,160		65,090	
応募者居住地	道内	道外	道内	道外
	92.8%	7.2%	79.6%	20.4%

本プロジェクトの今年度最大の取組は、昨年に引き続いての実施となるスタンプラリー形式の地域周遊促進企画「**ご当地キャラクターシールリレー-2016**」の開催です。

昨年度の実施結果、参加機関やイベント参加者の声を踏まえ、開催期間の見直しのほか、しりべし地域全20市町村との連携を達成した結果、昨年度と比較して各種数値が順調に伸びております。(左表参照)



文部科学省における企画展示



子ども霞が関見学デーの様子

また、本プロジェクトの成果を道外にも発信するため、文部科学省において3か月間の企画展示を行ったほか、中央省庁の合同イベント「**子ども霞が関見学デー**」で**ミニシールリレーを実施**しました。同イベントには100を超える多くのブースがありましたが、本学のブースには入場した子供たちの約1/3が集まり、大盛況となりました。

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

シールリレーに関しては、11月に報告書を取りまとめ、イベント参加機関のほか、観光関係機関等に配布し、その成果を還元しました。報告書を広く配布したことにより、企業等から今後の取組の継続に関して、支援及び連携にかかる問い合わせを複数いただいています。

今後は、学内予算の公募プロジェクトという形を離れて、取組を継続する可能性について検討を進めていく予定です。

